

令和6年度
第36回全国そば優良生産表彰事業実施要領

一般社団法人日本蕎麦協会

全国そば優良生産表彰事業実施要領

1. 趣旨

国産そばについては安定した需要があるが、天候等による生産量の増減や価格の変動の大きさが課題となっている。一方、実需者からは生産量の拡大のみならず、高品質のそばが求められている。こうした状況の下、国産そばの生産量を増やすだけでなく優良なそば産地の成長を図ることが重要である。

このため、生産技術の向上ならびに経営改善の面から創意工夫を行うとともに、玄そばの安定的な出荷販売、加工品の販売などによる付加価値の高い取り組みを行うなど、他の模範となるそば生産農家およびそば生産集団を表彰し、その技術・経営の全国普及、生産性の向上を図る。

2. 主催

一般社団法人日本蕎麦協会（以下、日本蕎麦協会と省略する）

3. 対象地域

日本国内のそば生産地を対象とする。

4. 表彰の種類（予定）

農林水産大臣賞（1点）

農林水産省農産局長賞（1点）

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞（最大3点）

全国蕎麦製粉協同組合理事長賞（最大3点）

玄蕎麦流通協議会会長賞（最大2点）

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞（最大3点）

一般社団法人日本蕎麦協会会長賞（最大2点）

一般社団法人日本蕎麦協会奨励賞

5. 参加資格

(1) そばの作付面積が原則として生産農家の場合30a以上、生産集団の場合2ha以上あるものとする。

(2) そばの10a当たり単収が地域の平均単収よりも高く、品質向上およびコスト低減に努め、他の模範となる実績を有すること。

(3) 輪作体系の導入などにより、そば作経営の定着化を図り、他の模範となる実績を有すること。

(4) 生産集団については、組織的な生産活動に顕著な成果を有すること。

(5) 過去に本表彰事業において表彰を受けた生産農家・生産集団で、相当年数を経過し、かつ経営が発展している場合には参加を認める。ただし、「一般社団法人日本蕎麦協会奨励賞」の受賞者は、収量性等の改善が見られた場合には、受賞の翌年度であっても再度応募することができる。

※農業の法人経営については、個々の経営実態などに基づき、農家もしくは集団のいずれかに区分するものとする。

6. 参加者の推せん・応募

- (1) 推せん・応募を希望する場合は1次審査に推せん・応募するものとする。
- (2) 1次審査への推せん・応募にあたっては、令和3年産～令和5年産のデータに基づいて推せん・応募するものとする。
- (3) 推せんにあたっては、表彰の目的に合致すると思われる農家・集団について都道府県、市区町村、都道府県そば需給安定推進協議会、農業普及指導センター、農業協同組合および実需団体・企業等が日本蕎麦協会に推せんするものとする。
- (4) 生産者が自ら応募しようとする場合には日本蕎麦協会に相談の上、応募することとする。
- (5) 過去に「日本蕎麦協会奨励賞」の受賞歴がある場合には、受賞の翌年度から再度応募することが可能とする。
- (6) 過去に本表彰事業において受賞歴がある場合には、日本蕎麦協会に相談の上、推せん・応募することとする。
- (7) 推せん・応募は、1次審査の推せん様式によるものとする。推せん様式等は協会ホームページよりダウンロードの上、使用する。
- (8) 応募については、協会の公式メールアドレス（問い合わせ先参照）への電子メールによる送信またはデータを記録したメディアでの提出を原則とする。いずれの場合も協会より受信した旨の返信メールをもって受付完了とする。押印・送付書等並びに原本の郵送は不要とする。
- (9) 推せん者・応募者への通知は全て電子メールで実施する。

7. 審査

<1次審査>

1次審査は事務局で審査を実施する。

<2次審査>

1次審査を通過した対象者のうち、2次審査調書が提出された生産農家・生産集団について、日本蕎麦協会に中央審査委員会を設置して審査を行う。

8. 審査方針

審査に当たっては、収量性、品質、経営の内容、高付加価値販売の取り組みなどを多角的・総合的に評価するものとする。

9. 日程

- (1) 1次審査推せん・応募締切
令和6年10月31日(木)
- (2) 2次審査調書締切
令和7年 1月24日(金)
- (3) 中央審査委員会
令和7年2月下旬(予定)
- (4) 表彰式
令和7年3月26日(水)
会場：如水会館（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

【問い合わせ先】

一般社団法人日本蕎麦協会（担当：事務局長・田中 祐輔）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2 - 4 麵業会館 3階

電 話 0 3 - 3 2 6 4 - 3 8 0 1

E-mail info@nihon-soba-kyokai.or.jp

令和6年度第36回全国そば優良生産表彰事業審査委員会および表彰式
【開催要領】

一般社団法人 日本蕎麦協会

1. 開催の趣旨

国産そばに対しては安定的な需要があり、近年はより高品質な玄そばに対する要望が高まっている。

このような現状に鑑み、国産そばの生産振興を推進するに当たり、生産意欲の高揚と栽培技術の向上を図ることが重要である。このため、生産技術の向上ならびに経営改善の面から創意工夫を行うとともに、玄そばの安定的な出荷販売、加工品の販売などによる付加価値の高い取り組みを行うなど、他の模範となるそば生産農家およびそば生産集団を表彰し、その技術・経営の全国普及を図る。

このため、国産そばの作付の拡大と生産性、品質の向上及び経営改善に資するため関係各位の後援並びにそば関係団体の協賛により、そば生産優良経営農家及び集団の審査及び表彰を行う。

2. 中央審査委員会

(1) 開催日および場所

開催日：令和7年2月

場 所：麵業会館（東京都千代田区神田神保町2-4）

(2) 審査委員

別紙のとおり

3. 表彰式

(1) 開催日および場所

開催日：令和7年3月26日（水）

場 所：如水会館（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

(2) 参加者（予定）

参加者数：50名

被表彰者：審査委員会が決定した受賞農家・受賞集団

来 賓：農林水産省、全国農業協同組合中央会、株式会社日本農業新聞、他

招待者：農林水産省、他関係者

審査委員名簿（予定）

	氏 名	所 属
委員	杉 山 隆 之	一般社団法人全国農業協同組合中央会農政部 部長
〃	堀 越 智 子	株式会社日本農業新聞編集局メディアセンター一部兼同局 主幹
〃	井 上 直 人	信州大学農学部 名誉教授
〃	田 中 秀 樹	一般社団法人日本麺類業団体連合会 会長
〃	越 路 和 範	全国蕎麦製粉協同組合 理事長
〃	藤 原 壮 吾	玄蕎麦流通協議会
〃	田 中 祐 輔	一般社団法人日本蕎麦協会 専務理事兼事務局長

(別紙2)

一般社団法人日本蕎麦協会
全国そば優良生産表彰事業 1次審査推せん・応募票

<記入見本>

提出日	〇〇月 〇〇月 〇〇日		
推せん者名 (自薦の場合は記入しない)	蕎麦市長 蕎麦 太郎		
推せん者連絡先 (自薦の場合は記入しない)	名称：蕎麦市役所 部署名：農政部農政課 担当者名：蕎麦 二郎 電話：01-2345-6789 携帯：090-1234-5678 電子メール：sobajirou@mail.or.jp		
年産 (いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和5年産	<input type="checkbox"/> 令和4年産	<input type="checkbox"/> 令和3年
種別 (いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> 農家	<input checked="" type="checkbox"/> 集団	
ふりがな 氏名・集団名	そばのうじょう 農事組合法人蕎麦農場		
代表者役職	代表理事組合長 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>		
ふりがな 代表者氏名	そば きぶろう 蕎麦 三郎 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>		
住所・所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4		
連絡先	電話：01-1234-5678 携帯：090-1234-5678 電子メール：sobasaburou@mail.or.jp		
栽培品種名 (3種類以上の場合は代表的なもの3種類)	①キタワセ (夏)	②キタワセ (秋)	③満点きらり
作付面積 (a)	①800a	②800a	③800a
単収 (kg/10a)	①75kg	②90kg	③130kg
本表彰事業の過去受賞歴 (該当する場合には賞名を記入)			
推せん・応募理由 (栽培技術・経営上の工夫など) ・額縁明渠に加えて、排水対策として深耕を実施し、湿害対策に力を入れていることで、地域の平均 単収よりも高い収量をあげている。 ・種子は全量を毎年更新し、肥料についても土壌に合わせた配合を行うことで、収量増加に結び付けている。 ・キタワセに加えて、ダットンソバ品種「満点きらり」を栽培、健康効果や機能性を前面に出して、契約栽培を実施し、販路を拡大している。 ・地域の遊休農地を積極的に利用し、そばの栽培を行うことで、地域貢献にも結び付いている。 ・今後はキタワセに代わる新品種の採用も検討し、作付面積の拡大も考えている積極性のある集団である。			

※ご記入いただいた個人情報は表彰事業に関わる業務のみに使用します。

一般社団法人日本蕎麦協会
全国そば優良生産表彰事業 2次審査調書

＜記入見本＞

提出日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
年産 (いずれかに☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和6年産 <input type="checkbox"/> 令和5年産
種別 (いずれかに☑)	<input type="checkbox"/> 農家 <input checked="" type="checkbox"/> 集団
ふりがな 氏名・集団名	農事組合法人日本蕎麦協会
代表者役職	代表理事組合長 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>
ふりがな 代表者氏名	そば たらう 蕎麦 太郎 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>
住所・所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4
連絡先	電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678
調書記入責任者連絡先	名称：蕎麦市役所 部署名：農政部農政課 担当者名：蕎麦 二郎 電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678 電子メール：sobajiro@sobacity.jp

※種別が「集団」の場合のみ下記をご記入ください。なお、別添資料として、定款・規約をご提出ください（PDF等のデータにて）。

設立年月日	昭和 60年 4月 1日
設立の趣旨	当該地域の耕作放棄地の活用のため、蕎麦栽培等の受託を行うため、設立した。
設立後の推移	昭和60年 4月 設立 平成 5年 4月 受託面積を拡大（10ha） 平成10年 4月 受託面積を拡大（20ha） 平成18年10月 〇〇〇賞受賞
集団活動としての特色	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の共同利用などにより、コスト削減と労働生産性の向上につなげている。 ・地域の耕作放棄地の有効活用に結び付き、地域貢献に結び付いている。 ・「〇〇そば祭り」を地元自治体と共同で開催し、生産したそばの消費拡大を図っている。

①概況

構成農家戸数（戸） （集団のみ記入）	専業農家	兼業農家 （第1種）	兼業農家 （第2種）	計
	10	5		15
経営耕地面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	3000		4000
そばの作付面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	1000		2000
専業・兼業の別（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 専業 <input type="checkbox"/> 第1種兼業 <input type="checkbox"/> 第2種兼業			
後継者の有無（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
農業従事者数 （農家のみ記入）	総数		内・そば栽培従事者	

②立地条件

県内における位置	・当該ほ場の県内におけるおおよその位置を記入してください。
地域の概況 （標高・地形・土壌・基盤整備・排水等）	・地域の概況、特徴について簡単に記入してください。
栽培ほ場の特徴	・排水性や傾斜、特殊な土壌などについて記入してください。
その他	・その他特記事項があれば記入してください。
地域の気象条件 （平均気温・降水量等）	・平均気温、降水量の他、日照等について記入してください。
そばの生育に影響したと 考えられる条件	・台風など当該年のそばの生育に影響した条件を記入してください。

③そば栽培

品種名	作付面積 (a)	収穫量 (kg)	食用	種子用	くず粒	単収 (kg/10a)
			(kg)	(kg)	(kg)	
キタワセソバ	2000	15,000	11,000	3,000	1,000	75
合計	2000	15000	11000	3000	1000	
作付面積および単収の推移 (当該年産と過去2年間)	年産	作付面積 (a)	単収 (kg/10a)	播種様式・条間 (cm)	単収増減の理由	
	当該年	2000	75	条播・10		
	前年	2000	50	条播・10	台風による倒伏	
	前々年	2000	65	条播・10		
作付体系	田	そば～小麦～そば				
	畑	そば～小麦～そば				
そばの品質 ※種子の場合は等級の ところに「合」を記入	品種名	等級	備考			
	キタワセソバ	1				
そばの出荷	出荷先					割合(%)
	JA〇〇					80
	地元蕎麦店					20
	収穫量のうち出荷量の割合					100
	出荷量のうち契約出荷の割合					80
経営における そばの位置づけ	内容	粗収益 (円)		単価・備考		
	玄そば販売	3,730,000		平均 14,850円/45kg		
	種子販売	0		平均 0円/45kg		
	そば粉販売	5,184,000		平均 2,400円/kg		
	交付金	646,000				
	計			対経営全体比：80%		

④作業別労働時間・機械化の現状

作業名	作業期間	使用機械等	所有 (個人・共同等)	労働力 (人)	作業時間 (分/10a)	備考	
排水・溝堀	7/28～ 8/4	トラクター 溝堀機	個人	1	20		
元肥散布	8/5～ 8/17	播種同時施肥機 ブロードキャスター	共同	1	25		
耕起	7/25～ 7/27	トラクター ロータリー耕	個人	1	20	深度：10cm	
整地	-	-	-	-	-		
播種	8/5～ 8/17	ドリルソーダー	個人	1	20	播種量：5kg/10a 播種様式：条播	
防除	9/20～	動力噴霧器	共同	1	30		
追肥	-	-	-	-	-		
中耕	-	-	-	-	-		
除草	9/20～	草刈機	個人	1	30		
培土	-	-	-	-	-		
収穫	11/1～3	汎用コンバイン	個人	1	30	黒化率：70%	
乾燥	11/1～3	J Aに委託	-	-	-	乾燥方法：通風	
調製・袋詰等	11/4～	J Aに委託	-	-	-		
					計	175	2.916666667

⑤生産費

費用		金額 (円/10a)	費用の内訳
物 財 費	種苗費	4,000	種子購入
	肥料費	4,500	そば専用有機肥料〇〇 3,000円/20kg 30kg/10a使用
	農業薬剤費	1,500	〇〇〇〇 1,500円/500ml 500ml/10a使用
	光熱動力費	5,000	
	諸材料費	500	袋代、検査手数料
	土地改良 ・水利費	0	
	賃借料 ・料金	8,000	収穫委託費 8,000円/10a
	租税公課	2,000	
	建物費	2,500	
	農機具費	8,000	
	生産管理費	0	
労 働 費	自家労働	6,000	@1,500 円/時間×4.0 時間/10a
	雇用労働	0	@ 円/時間× 時間/10a
計 (費用合計)		42,000	

※費用の分類は農業経営統計調査（生産費調査）の費用分類を参考にしてください。

⑥技術上の工夫

(例) 排水対策・湿害対策・倒伏防止策・地力維持・種子更新実施・優良品種導入・乾燥、調整方法など

・技術上の工夫について、特に力を入れていることを記入してください。

⑦経営上の特色

(例) 機械化推進・作業効率化・コスト低減・作付体系・契約栽培・地域活性化・6次産業可化など

・コスト削減や地域への貢献等、生産者の特色ある経営について記入してください。

⑧今後の課題

(例) 次年度以降の作付計画・技術改善・経営改善等

・次年度以降の作付の拡大や技術・経営上の改善について予定・計画していることを含め、記入してください。